

## 江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成 25 年度第 1 回 第 1 分科会（生活環境、産業分野）
日時	平成 25 年 10 月 2 日（水） 午後 1 時 30 分～午後 4 時
場所	江南市民体育会館 2 階 第 1 会議室
出席者	市民委員 後藤 俊夫、藤田 泰雄、宮川 秀男、望月 晴夫、安藤 哲子、岩井 喜美子、 前田 哲郎、松本 千賀子
	市職員 片野 富男、小塚 昌宏、大岩 直文、米田 隆彦、阿部 一郎、古田 勝己、 加藤 靖之
議題	1. 今年度のまちづくり会議について 2. まちづくり評価について 3. 江南市戦略計画の見直しについて 4. 委員及び市職員の紹介 5. まちづくり評価及び戦略計画の見直しについて 6. 第 2 回の会議日程について
資料	資料 1 江南市まちづくり会議委員名簿 資料 2 まちづくり評価について 資料 3 「江南市戦略計画」見直しの考え方について 資料 3 別紙 1 目標フレーム見直しの考え方 資料 3 別紙 2 新たな環境変化 資料 4 まちづくり会議のスケジュール 資料 5 まちづくり評価 資料 6 戦略計画見直し作業結果シート 資料 7 江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査報告書

### ◆ 会議結果 ◆

#### 1. 今年度のまちづくり会議について

- ・経営企画部長より、今年度のまちづくり会議について、資料に基づき、まちづくり会議の目的、役割、今後のスケジュールについて説明がありました。

#### 2. まちづくり評価について

- ・行政経営課主幹より、資料 2 に基づき、まちづくり評価について説明がありました。

#### 3. 江南市戦略計画の見直しについて

- ・行政経営課企画政策グループリーダーより、資料 3 に基づき、江南市戦略計画の見直しについて説明がありました。

#### 4. 委員の自己紹介

- ・4月の人事異動により変更のあった市職員の委員について、事務局より紹介がありました。

#### 5. まちづくり評価及び戦略計画の見直しについて

##### 〔柱 1〕安心・安全な地域づくり

- ・資料 5、6 に基づき、委員（危機管理室長）より説明がありました。

## 【まちづくり評価関係】

### 【個別目標①】災害への備えが行われている

- ・防災センターができることで減災につながるよう市民は期待しているが、震災のときには自助と共助がなくては減災できないことを市民へもっと啓発していただきたいとの意見がありました。
- ・これに対して、これまで災害用の備蓄は、3日分が適量と言われてきたが、南海トラフ巨大地震の対策には1週間分以上の確保が必要と言われている。市役所も防災倉庫に備蓄をしているが、これは市民全員分を確保しているわけではなく、市民の方が自宅で備蓄をしていただくことを前提に、避難所へ避難してきた人に対する備蓄である。しかし、1週間分備蓄をしている方はそれほどいないという現状もあり、まずは各家庭での備蓄をしっかりしていただくことを今後広報で特集を組んで啓発していきたいとの説明がありました。
- ・新しくできる防災センターと市民とはどういう関わりを持つのか、区・町内会は減災に向けてどのような活動をしていけばいいのか、市と市民がお互いを理解して情報を共有できるようにしていただきたいとの意見がありました。
- ・これに対し、防災センターの機能としては、揺れを感じる施設や訓練を行うような施設ではなく、災害対策本部の会議室や災害が起きた際に職員が出動前に待機する控え室として利用するなど、また、自主防災会会長会議も行えるようにするため、セミナー室や会議室を有した施設と位置づけているとの説明がありました。
- ・市民の中には防災コーディネーターの資格を持っている人もたくさんおり、そうした人を巻き込んで、市と市民がお互いの力を発揮できるような体制を作っていってほしいとの意見がありました。
- ・防災センターの完成時期については、平成26年3月18日ごろを目途に、4月1日から稼働する予定であるとの説明がありました。
- ・地震があっても江南市は大丈夫だろうと安心している市民も多い。市が何とかしてくれるだろうという思いもあり、どうして1週間分の備蓄をしないといけないのか、分からない人も多いのではないかと意見がありました。
- ・これに対して、津波を一つの例としても江南市にまで来ることはないと言われ、立地条件としてはそれほど厳しい地域ではないが、被害が全くないということではないため、備蓄の必要性や避難所の場所などを広報やホームページを通じて繰り返し丁寧にPRをしていきたいとの説明がありました。
- ・国内では最近、竜巻による被害など、過去のデータから予測できないことも起きているとの意見に対して、東日本大震災後、想定外という言葉は使われなくなり、あらゆる事態を想定しなくてはいけないとの説明がありました。
- ・備蓄品は古いものを使いながら新しいものを補充していけば消費期限を切らしてしまうこともなく、万が一消費期限を切らしてしまったときは、災害が起きなくて良かったと思うようにしているとの意見がありました。また、ボランティアの会の中で少しずつお金を貯めて、メンバーに3日から4日分の備蓄品を配り、家庭だけでなく地域の小さな防災拠点となるような取り組みも行っているとの意見がありました。
- ・市の指定の避難場所だけでは市民の3分の1も収容できないことから、災害時の避難場所として、地域の人に身近な公民館を活用できないかとの提案がありました。
- ・これに対して、避難所は江南市民10万人全員を受け入れるものではないため、具体的な数値を持ち合わせているわけではないが、現状の指定施設で充足していると考えているとの説明がありました。また、公民館まで避難所を広げた場合に、避難所に避難してきた人の情報の把握や備蓄を輸送したりするための市の人員体制を確保することができないことから、実際に公民館まで避難所として活用することは困難であるが、ご意見として承りたいとの説明がありました。



## **〔個別目標②〕地域の防犯体制が整い、犯罪が減っている**

- ・指標名「犯罪発生件数」について質問があり、これは警察に届けられた件数であるとの説明がありました。
- ・防犯カメラの設置補助について質問があり、江南市では駅周辺での犯罪被害が多いことなどから、江南駅に5台、布袋駅に1台、計6台の防犯カメラを12月ごろまでに市で設置する予定であるとの説明がありました。なお、布袋駅については鉄道高架化事業が進捗中のため、今後台数を増やしていくとともに、補助制度については、駅周辺の防犯カメラ設置効果を検証しながら、今後考えていきたいとの説明がありました。
- ・指標名「地域安全パトロール実施率」の24年度実績値は91.1%であるが、実施している団体は何団体あるか質問があり、次回の会議で詳細を説明することになりました。
- ・地区のパトロールに参加して9年目になるが、毎週金曜日に隣近所の方とコミュニケーションを深める機会となり、防犯以外にもいろいろな副産物があるとの意見がありました。

## **〔柱2〕消防・救急体制の充実**

- ・資料5・6に基づき、委員（総務予防課長・消防署長）より説明がありました。

## **6. 第2回の会議日程について**

- ・第2回、第3回の会議日程について、次のとおり決定しました。
- <第2回> 10月16日（水）午前9時30分～
- <第3回> 10月30日（水）午前9時30分～